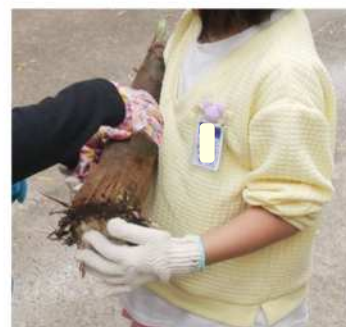


令和 6 年度

さと

川口市立里小学校

収穫体験
たけのこほり



第 2 学年

特色

- 本校には竹林があり、2年生がたけのこほりをしている。毎年、校内の竹林で学校校務員と学校栄養士とともにたけのこを自分たちの力で掘り出し、全校児童で給食としていただく。
- 毎日、見ている竹林では春になるとたけのこを収穫することができる。また収穫しないたけのこはそのまま大きくなると竹となり、お正月には門松を作って飾ったり、校内の掲示物の表示に活用したりしている。

児童の感想

- たけのこは、土の中の深くまで埋まっていて、掘るのが大変でした。
- たけのこの皮には毛が生えていて、とげとげしていました。
- たけのこを作っている人は、大変だと思いました。
- 大きな竹になる前がたけのこだと初めて知りました。

成果

- 食材としてのたけのこを掘る大変さを実感し、農業従事者への感謝の気持ちを育てることができた。
- 植物を大切に育てる気持ちをもたせることができた。